

横須賀市中小企業景況レポート

第 52 号（令和 7 年 10 月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市がさらに追加調査しました。

横須賀市中小企業景況レポートは、3 か月に 1 回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：159 社（うち、かながわ信用金庫＋湘南信用金庫 調査 141 社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和 7 年 4～6 月の景況感（調査時点 令和 7 年 6 月 1 日）
今期・・・令和 7 年 7～9 月の景況感（調査時点 令和 7 年 9 月 1 日）
次期・・・令和 7 年 10～12 月の景況感（調査時点 ” ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページに D I 値の説明あり）

景況及び 4 項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期の D I 値を記載

全業種の景況感は、前期【△3 P】から【1 P】となりました。

今期の景況感は、建設業【20 P】、卸・小売業【△4 P】は、それぞれ 24 P、15 P 向上しましたが、サービス業【△9 P】は 16 P 低下し、製造業【△3 P】は 13 P やや低下しました。不動産業【0 P】は横這いの状況です。

項目別では、収益【△7 P】が 6 P やや向上しましたが、売上額【△1 P】、雇用人員【△37 P】、資金繰り【△7 P】は横這いの状況です。

昨年同期（令和 6 年 7 月～9 月）との景況感比較は、今期構成比【△4 P】で、前期構成比【△13 P】と比べ、やや向上しました。

景況感は依然として原材料費高騰による収益の影響や人手不足の声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15 P 以上)	やや向上 (6 P～14 P)	変わらない (△ 5 P～ 5 P)	やや低下 (△ 6 P～△14 P)	低下 (△15 P 以下)
↑	↗	→	↘	↓

業種別 調査結果と事業者の声

＊ D I 値調査結果は裏面に記載

（１）製造業 景況感 【 △ 3 P <やや低下> ↘ 】 （前期比 △13 P）

前期と比べ、資金繰り【△ 6 P】は 6 P やや低下しました。売上額【△ 3 P】、収益【△ 9 P】、雇用人員【△33 P】は横這いの状況です。

次期は、収益、資金繰りが向上し、売上額もやや向上の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・光熱費や人件費が上昇していることもあり、売上げは堅調ながら収益性を低下させる要因があるということは懸念材料である。人員については、世代交代も見据えると適正人数+αが好ましいが、求人に応募がなく、社員の世代交代が円滑に進むかどうかは不安材料である。
- ・価格転嫁が進んでいない状況から、業況や景況感は楽観視できない。

（２）建設業 景況感 【 20 P <向上> ↑ 】 （前期比 24 P）

前期と比べ売上額【20 P】、収益【9 P】は、それぞれ 16 P、19 P 向上しました。

雇用人員【△50 P】、資金繰り【△ 9 P】は、横這いの状況です。

次期は、資金繰りがやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・安定受注に加え、外国人労働者が戦力化してきたことで利益率が改善された。
- ・資材高騰により建築需要が一服していたが、反動により受注増となる。人手不足であるが、工期を長期化し外注費の抑制を調整するなど対応している。元請への価格交渉も以前より行いやすくなっており利益確保ができています。

(3) 卸・小売業 景況感 【 △4 P <向上> 】 (前期比 15 P)

前期と比べ、収益【△7 P】は、19 P 向上し、雇用人員【△40 P】は、7 P やや向上しました。売上額【△6 P】、資金繰り【△14 P】は横這いの状況です。

次期は、売上額、収益、雇用人員がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・物価高騰、近隣スーパーや量販店との競争激化の影響はあるものの、固定客を確保できている。
- ・仕入価格の高騰分を販売価格に転嫁できており、利益率は維持。
- ・日産自動車追浜工場の車両生産終了に伴い、小売業、飲食業等少なからず影響があると思われる。
- ・上町地区は、うわまち病院の移転後人流の大きな減少が見られ、各店ともに大きな不安を持っている。

(4) 不動産業 景況感 【 0 P <変わらない> 】 (前期比 0 P)

前期と比べ、雇用人員【△15 P】は 18 P 向上し、資金繰り【8 P】が 8 P やや向上しましたが、収益【△15 P】が 26 P 大幅に低下し、売上額【0 P】は 11 P やや低下しました。

次期は、売上額、収益が向上し、雇用人員がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・賃貸物件の保有及び不動産売買を主業とするが、建築資材や物件価格の高騰により仕入は鈍化しており、事業利益も低下している。
- ・材料費の高騰による高めの価格設定、ロシア・ウクライナ戦争の長期化やトランプ関税を起因とする景気の先行き不透明感、今後の金利動向に対する不安により顧客側も様子をうかがっている状況が続いている。

(5) サービス業 景況感 【 △9 P <低下> 】 (前期比 △16 P)

前期と比べ、資金繰り【△3 P】は、6 P やや向上しましたが、売上額【△11 P】は 27 P 大幅に低下しました。収益【△21 P】も 15 P 低下し、雇用人員【△32 P】は、12 P やや低下しました。

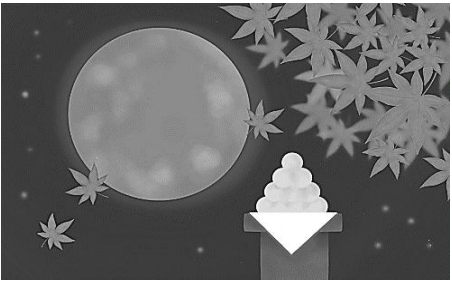
次期は、収益が向上し、売上額もやや向上する見込みですが、資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・材料費や光熱費の高騰を背景にやむを得ず値上げをした。
- ・この時期は、学生が夏休みで売上げ激減するため資金繰りに苦慮する。引き続き材料の仕入額を抑えつつ利益確保に努める。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和7年4月～6月の景況感（調査時点 令和7年6月1日）
今・・・今期 令和7年7月～9月の景況感（調査時点 令和7年9月1日）
次・・・次期 令和7年10月～12月の景況感（調査時点 令和7年9月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	143	30	30	43	9	31
今期	159	33	34	45	13	34
次期	159	33	34	45	13	34

(単位：ポイント)

業種 項目		全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景 況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良 い(A)	24	22	23	33	21	27	23	29	26	21	27	24	11	15	8	26	12	18
	変わらず	49	57	64	44	55	55	50	62	71	39	42	56	78	70	84	55	67	70
	悪 い(B)	27	21	13	23	24	18	27	9	3	40	31	20	11	15	8	19	21	12
	DI値(A)－(B)	△ 3	1	10	10	△ 3	9	△ 4	20	23	△ 19	△ 4	4	0	0	0	7	△ 9	6
	今－前 / 次－今	4		9	△ 13		12	24		3	15		8	0		0	△ 16		15
売 上 額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好 転(A)	29	24	24	20	24	24	27	32	29	35	27	24	22	15	23	32	15	18
	変わらず	43	51	60	53	49	55	50	56	59	21	40	58	67	70	69	52	59	67
	悪 化(B)	28	25	16	27	27	21	23	12	12	44	33	18	11	15	8	16	26	15
	DI値(A)－(B)	1	△ 1	8	△ 7	△ 3	3	4	20	17	△ 9	△ 6	6	11	0	15	16	△ 11	3
	今－前 / 次－今	△ 2		9	4		6	16		△ 3	3		12	△ 11		15	△ 27		14
収 益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増 加(A)	16	18	18	13	21	24	20	24	21	16	24	20	22	8	15	13	3	9
	変わらず	55	57	66	60	49	55	50	61	64	42	45	62	67	69	77	68	73	79
	減 少(B)	29	25	16	27	30	21	30	15	15	42	31	18	11	23	8	19	24	12
	DI値(A)－(B)	△ 13	△ 7	2	△ 14	△ 9	3	△ 10	9	6	△ 26	△ 7	2	11	△ 15	7	△ 6	△ 21	△ 3
	今－前 / 次－今	6		9	5		12	19		△ 3	19		9	△ 26		22	△ 15		18
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多 い(A)	2	1	1	0	0	0	0	3	3	2	0	0	0	0	0	6	0	3
	適 正	57	61	64	67	67	64	47	44	47	49	60	69	67	85	92	68	68	65
	少 ない (B)	41	38	35	33	33	36	53	53	50	49	40	31	33	15	8	26	32	32
	DI値(A)－(B)	△ 39	△ 37	△ 34	△ 33	△ 33	△ 36	△ 53	△ 50	△ 47	△ 47	△ 40	△ 31	△ 33	△ 15	△ 8	△ 20	△ 32	△ 29
	今－前 / 次－今	2		3	0		△ 3	3		3	7		9	18		7	△ 12		3
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	余裕がある(A)	11	12	8	13	12	9	10	9	6	14	13	9	0	8	8	10	15	9
	支障がない	72	69	79	74	70	88	73	73	85	63	60	69	100	92	92	71	67	73
	苦 しい (B)	17	19	13	13	18	3	17	18	9	23	27	22	0	0	0	19	18	18
	DI値(A)－(B)	△ 6	△ 7	△ 5	0	△ 6	6	△ 7	△ 9	△ 3	△ 9	△ 14	△ 13	0	8	8	△ 9	△ 3	△ 9
	今－前 / 次－今	△ 1		2	△ 6		12	△ 2		6	△ 5		1	8		0	6		△ 6

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答155社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	26社	17%	17%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	96社	62%	53%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	33社	21%	30%
DI値(A)－(B)		△4P	△13P

